金融市場部 為替営業第二チーム

One MIZUHO

106.7

みずほCustomer Desk Report 2024/03/26 号(As of 2024/03/25)

17 7 16 Customor Book Roport 202-17 007 20 -9 (718 07 202-17 007 207					
【昨日の市況概要	4]			公示仲值	151.43
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.31	1.0807	163.55	1.2602	0.6516
SYD-NY High	151.54	1.0842	164.20	1.2652	0.6546
SYD-NY Low	151.06	1.0803	163.32	1.2594	0.6510
NY 5:00 PM	151.42	1.0837	164.10	1.2636	0.6541
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,313.64	▲ 162.26	日本2年債	0.1900%	▲0.0100%
NASDAQ	16,384.47	▲ 44.35	日本10年債	0.7300%	▲0.0100%
S&P	5,218.19	▲ 15.99	米国2年債	4.6286%	0.0352%
日経平均	40,414.12	▲ 474.31	米国5年債	4.2326%	0.0451%
TOPIX	2,777.64	▲ 35.58	米国10年債	4.2484%	0.0473%
シカゴ日経先物	40,185.00	▲ 420.00	独10年債	2.3725%	0.0530%
ロント・ンFT	7,917.57	▲ 13.35	英10年債	3.9840%	0.0590%
DAX	18,261.31	55.37	豪10年債	4.0180%	▲0.0510%
ハンセン指数	16,473.64	▲ 25.83	USDJPY 1M Vol	7.28%	▲0.58%
上海総合	3,026.31	▲ 21.73	USDJPY 3M Vol	8.18%	▲0.37%
NY金	2,176.40	16.40	USDJPY 6M Vol	8.47%	▲0.30%
WTI	81.95	1.32	USDJPY 1M 25RR	▲0.68%	Yen Call Over
CRB指数	288.94	3.18	EURJPY 3M Vol	7.78%	▲0.36%
ドルインデックス	104.47	0.47	EURJPY 6M Vol	8.15%	▲0.40%

東京時間ト、ル円は151.31レヘ・ルでオープン。オープン前の早朝に神田財務官が「投機による過度な変動は容認することはできない。行き過ぎた変動に対しては適切な行動をとる」と述べ円安をけん制した。為替介入に対する警戒感が高まる中、トル円は日中151円前半の水準でもみ合いに。結局151.23レヘルでケース・した。

ロントン市場のト・ル円は、151.23レヘ・ルでオープン、特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局151.30レヘ・ルでNYに渡った。ホント・ルは、1.2611レヘ・ルでオープン。英3月CBI小売流通・売上高指数が共に市場予想を上回るも、市場への影響は限定的。結局、1.2637レヘ・ルでNYに渡った。

海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。神田財務官の円安牽制発言や、期末絡みの円買いフローが相まって、ドル円は151.30近辺を挟んだ上値重い推移が続き、151.30レヘルでNYオープン。オープン序盤は151.13まで下落する場面もあったが、その後ボスティか・アトランタ連銀総裁が「今年の利下げは1回のみと予想している」との発言が伝わると、低下していた米金利が上昇する動きに買い戻しが入り、じりじりと値を戻す展開。続いて発表された米2月新築住宅販売件数が予想を下回るも、ドル円は反応薄で、その後151.40付近まで反発。午後は軟調な米2年債の入札結果等が一段の支えとなり、151.50付近の高値圏での値動きが続く。その後は買い一巡となり、小幅反落し、151.42レベルでクローズ。 一方、海外市場のコーロドルは1.08台前半でスター、独金利が上昇する動きに買いが優勢となり、1.0829レベルでNYオープン。午前中は独金利が上昇幅を拡大する動きを横目に、1.0842まで上値を伸ばすも、その後は米金利も高水準で推移する展開を受け伸び悩む。午後も1.0840付近でほぼ横ばいで推移し、1.0837レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡ないに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

【昨日の指標等】

	77 T A					
Date	Time		Event		結果	<i>予想</i>
3月25日	14:00	日	景気一致指数∙確報	1月	110.2	-
	21:25	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁	講演今年の利下げ	がは1回のみと予想	想している
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	2月	0.05	-0.34
	23:00	*	新築住字販売供数	2日	662k	677k

【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
3月26日	08:30	豪	ウェストパック消費者信頼感指数	3月	-	86
	21:30	米	耐久財受注(前月比)•速報	2月	1.0%	-6.2%
	21:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)•速報	2月	0.4%	-0.4%

コンファレンスボートが消費者信頼感

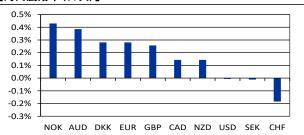
【ドル円相場】

23:00

151.60 151.50 151.40 151.20 151.10 151.00 150.90 6 9 12 15 18 21 0 3 6

【対円騰落率(日次)】

3月



107

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.00	1.0800-1.0900	163.50-164.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は151円台前半を中心にもみ合いとなった。欧州時間はユーロ/ドル買い戻しの流れから、ドル/円は151円台前半にて上値重い推移となった。NY時間は、米2月・新築住宅販売件数などの指標が予想比下振れると一時ドル売りが優勢となったが、その後は米金利の上昇などを受け151円半ば付近まで上昇してクローズした。また、この日、米アトランタ連銀総裁や米シカゴ連銀総裁の発言が伝わったが反応は限定的だった。

本日のドル/円も151円台でのもみ合いの継続を予想する。昨晩は米経済指標の結果を受けてドル売りが進行する場面が一時見られたが、本日予定の経済指標は前回比結果の改善が予想されておりドル買いに有利に働きそうだ。一方で、ドル/円は151円を超えてきてからやや慎重な上昇が続いており、上値が押さえられる展開も継続しそう。本日も引き続き151円台での推移が継続するのではないか。



京